

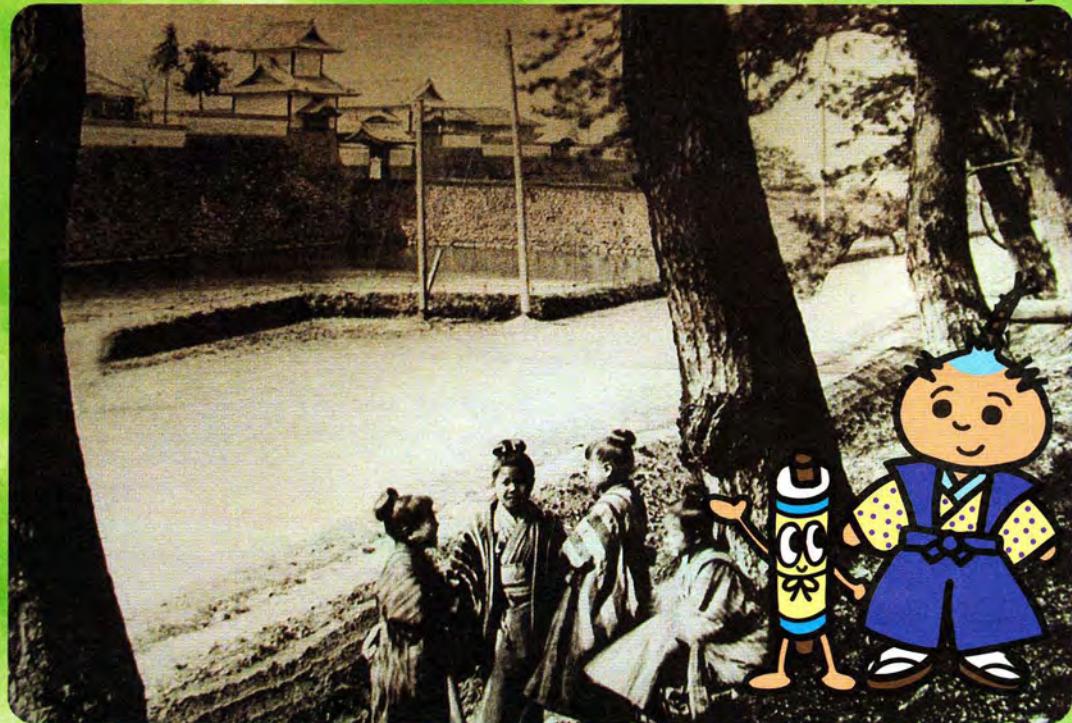
どくしょねんきねん  
子ども読書年記念

子どものための



かなざわ

# 金沢のれきし展



明治40年(1907)の石川門付近・堀には水も見えるね

てんじしづ  
展示は静かに  
見ようね

場所◆金沢市立玉川図書館近世史料館  
金沢市玉川2-20

期間◆2000年7月20日(木・祝)~9月17日(日)

開館時間◆10時~19時(土日祝は17時まで) 月曜休館



## ? 金沢はいつごろできたの



前田 利家



みんながいる金沢は、4,000年くらい前から人が住んでいたんだ。今の金沢の町のもとを作ったのは、尾張国（愛知県）からやってきた前田利家（1538–1599）という人なんだよ。天正11年（1583）に金沢に来てから、江戸時代が終わるまでの約280年のあいだ、前田家が金沢を中心に加賀・能登（石川県）、越中（富山县）を治めたんだ。



前田家の住んだ金沢城  
(石川門が残っているよ)

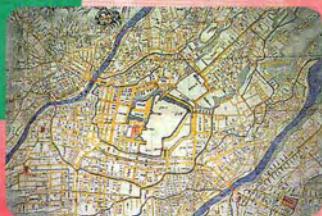
## ? 江戸時代の金沢はどんなだったのかな

江戸時代の金沢は、犀川と浅野川にはさまれた地域をさして今よりずっと小さかったんだ。その中に武士、商人、職人などさまざまな人が住んでいて、そのころの日本では江戸（東京）、大坂（大阪）、京都などに続く大きな町だったんだ。

金沢のように城を中心に発達した町を城下町というんだよ。



江戸時代の犀川大橋



江戸時代の金沢図

# ？ 加賀百万石って何のこと

武士は給料をお米でもらっていたんだ。だから、大名の領地も「石」という米の単位であらわしたんだ。前田家は、約百万石の米を取れる土地を治めていたことになるのでこのように呼ばれたんだよ。

1石は、約180リットル  
(2リットルのペットボトル約90本分)



# ？ 武士はどうなったのかな



江戸時代が終わると、武士という身分がなくなり、武士の家はたいへん困ったんだ。だから、みんないろいろな職業について働いたのだけど、失敗する人もたくさんいたんだ。

# ？ 明治になって人々の生活はどうかわったのかな

外国(特にヨーロッパやアメリカ)の文化が急に入ってきて、生活が大きく変わったんだ。ちょんまげをやめたり、和服から洋服にかわったのも明治になってからなんだよ。



明治のはじめのころの天神橋(よみがえりばし)のようす。和服の人も洋服の人もいるね。



いまの天神橋



# ？一 こうづう 交通はどのようにかわったのだろう

それまで、人々は歩いたり、かごや馬を使って移動していたんだけど、明治になると、鉄道がしかれて遠くまで早く移動できるようになった。  
人力車や自転車が使われだしたのもこのころなんだよ。  
大正には自動車も登場して陸上の交通は大きくかわったんだ。



かご



じょうききかんしゃめいじ  
蒸気機関車(明治37年)

# ！一 かなざわ ようすい 金沢の用水

用水は城を守ったり、農業用、工業用、そして生活用などを目的として掘られたんだ。金沢にはたくさんの用水が流れているぞ。



おの の しょりょうようすい  
大野庄用水



たつみ ようすい  
辰巳用水



のうぎょうようすい  
農業用として  
ゆうめいな  
有名

くらつきようすい  
鞍月用水

かなざわ ねんびょう  
金沢れきし年表

えどじだい  
江戸時代

てんしょう 天正11年 1583	まえだといしきかなざわじょうしゅ 前田利家金沢城主となる。
けいちょう 慶長5年 1600	まえだとしながりょううち 前田利長の領地120万石あまりとなる。
7年 1602	かなざわじょう こんじかく しょうしつ 金沢城の天守閣が焼失する。
15年 1610	かなざわじょう もとそつきまほ 金沢城の外懸構ができる。
かんじい 寛永8年 1631	かなざわ たいか 金沢の大火がおこる。
16年 1639	とやまはん だいじょうじはん 富山藩、大聖寺藩ができる。
かんぶん 寛文10年 1670	むらごいん かぐむら こうふ 村御印が各村に交付される。
じょうきょう 貞享2年 1685	はんしゆつなり きょうと とうじ しょばこ 5代藩主綱紀が京都の東寺に書箱をおくる。

げんろく 元禄3年 1690	かがはんはつかせい 加賀藩八家の制ができる。
きょうほう 享保4年 1719	いのうじやくすい がくしゃ はくぶつじでん 稻生若水という学者に博物辞典をつくらせ、将軍にさしあげた。
ほうれき 宝暦5年 1755	はんきんめつ かへい 藩銀票という貨幣をつくらせた。
きょうわ 享和3年 1803	いのうただか かが かいがん そくりょう 伊能忠敬が加賀の海岸などを測量する。
ぶんせい 文政5年 1822	はんしゆ さいじょよたけわこてん 藩主の隠居所竹沢御殿ができる。
めいじ 明治元年 1868	めいじいしん ふし しきひ 明治維新。武士の社会が終る。

めぬじ  
たぬひょうらじだい  
明治・大正時代

めいじ 明治元年 1868	ねんごう めいじ 9月:年号が明治となる。
2年 1869	11月:はじめて牛肉が売られる。
3年 1870	みょうじ 9月:すべての人が苗字をつけるようになる。11月:6力所に小学校がつくられる。
4年 1871	じんりきや とうじょう かなざわさい 5月:人力車が登場した。12月:金沢最初の新聞(開化新聞)が発行される。
5年 1872	かなわけん いしかわけん あだた 2月:金沢県が石川県と改められる。12月:太陽暦が使われ、この日が明治6年1月1日となる。この年、最初の写真館ができる。
7年 1874	けんろくえん こうえん 2月:兼六園が公園となる。
9年 1876	さいしょ じょうせつはくぶつかん かんぎょうはくぶつかん 日本最初の常設博物館(勧業博物館)ができる。
10年 1877	さいしょ ようしょくや すいこうかん かいぎょう この年、最初の洋食屋(醉紅館)が開業。この年、はじめて西洋菓子が売りだされる(尾張町七日堂)。
21年 1888	かみやはら さいしょ こううちせいり 3月:上安原で日本最初の耕地整理がおこなわれる。
22年 1889	しせい 4月:市制がしかれ、金沢区が金沢市となる。

30年 1897	かつどうしゃしん じょうえい 6月:活動写真がはじめて上映される(香林坊坊助座)。
31年 1898	こまつ かなざわかん きしゃ かいづら かなざわえき 4月:小松・金沢間に汽車が開通し、金沢駅ができる。
33年 1900	かなざわ でんとう 6月:金沢に電灯がともる。
34年 1901	でんわ かいづら 3月:電話が開通した。
44年 1911	ひやつかけりう どうろ かいづら 6月:百間堀が埋め立てられ、道路が開通した。
たいしょう 大正元年 1912	ねんごう たいしょう 7月30日:年号が大正となる。
2年 1913	かなざわ ひこうき 7月:金沢ではじめて飛行機が飛んだ。
8年 1919	しないさいしょ のあ じどうしゃ 8月:市内最初の乗り合い自動車(タクシー)の営業がはじめられる。
12年 1923	しないわんしゃ かいづら 7月:市内電車が開通した。
14年 1925	かなざわしさい 6月:第1回の金沢市祭がおこなわれる。11月:金沢で最初の百貨店(宮市百貨店)ができる。
	ほうそう しみんしちょう 5月:ラジオ放送の市民試聴がおこなわれる。

！ きんせいしりょうかん あんないす  
近世史料館の案内図です

ここが1階

ここが入口だ



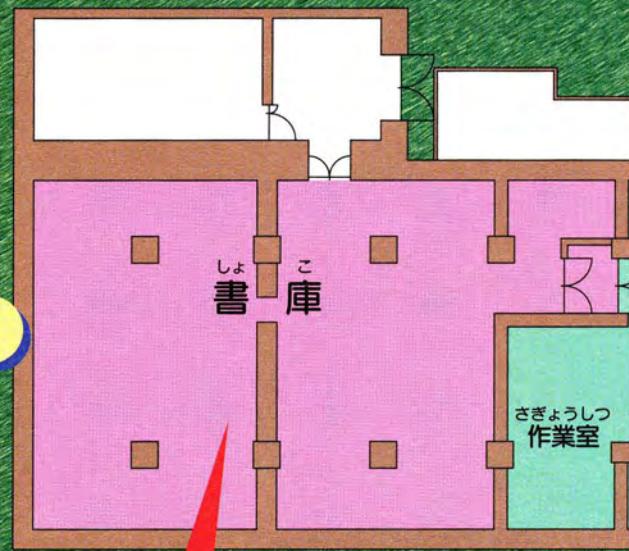
? こもんじょ  
古文書って何だろう

古い時代に書かれた文書のこと  
をさすけど、ここでは江戸時代  
のものがたくさんあるよ。



? 気をつけることはある

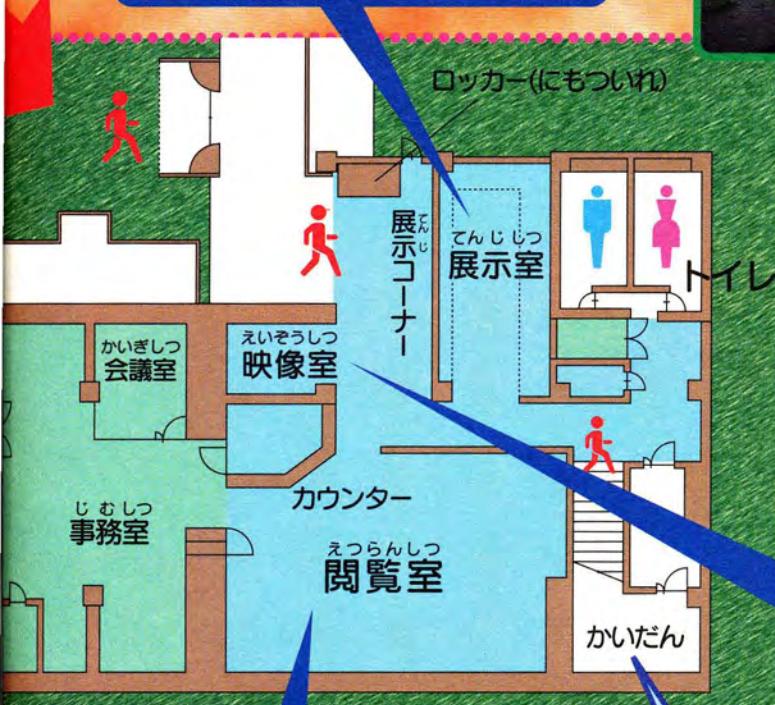
紙だから、やっぱりこわいのは  
火事だね。



こもんじょ  
ここに古文書  
が入っているんだ



てんじしつ  
展示室

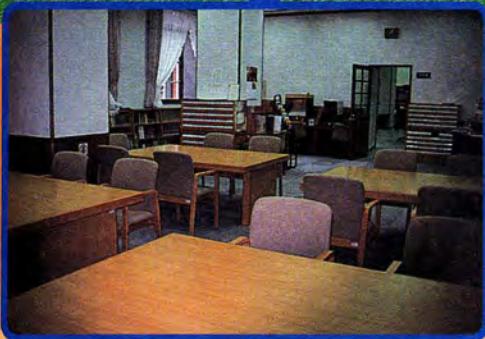


となりは  
玉川公園だ

ビデオを見てね



2階にも  
展示室が  
あるんだ



ここで古文書を  
見ることができるよ



きんせいしりょうかん

## 近世史料館でのきまりごと

★本や史料は大切にあつかう  
しりょう

★さわいだり走ったりしない

★飲んだり食べたりしない



きんせいしりょうかん

## 近世史料館からのお知らせ

てんじ　ないよう　かなざわ　れきし  
展示の内容や金沢の歴史について  
わからないことがあればいつでも  
きがる　でんわ  
気軽に聞いてね、電話でもいいよ。



金沢市立玉川図書館近世史料館

金沢市玉川2-20 ☎076-221-4750

期　間 2000年7月20日(木・祝)～9月17日(日)  
開館時間 10時～19時(土日祝は17時まで) 月曜休館



平成 12 年度特別展  
子ども読書年記念

「子どものための  
かなざわ  
金沢のれきし展」  
てん

展示目録

期間：平成 12 年 7 月 20 日（木）～9 月 17 日（日）  
会場：金沢市立玉川図書館 近世史料館

### かなざわじょうさんかい お やぐら ず ・金沢城三階御櫓図

さんかい やぐら けいちょう や てんしゅかく よくねん た  
三階櫓は、慶長7年(1602)に焼けた天守閣にかわるものとして、翌年に建てられたもの  
です。しかし、これも宝暦9年(1759)には燃えてしまいました。  
えどじだい か す かくだい いろ つ  
これは、江戸時代に書かれたやぐらの図を拡大し、色を付けたものです。

### だいみょうぎょうれつ えどじだい ・大名行列図(江戸時代)

やまごえ す だいみょうぎょうれつ やま こ ま みち く ろう こうしん  
山越図 : 大名行列が山を越えているところです。曲がりくねった道を苦労して行進している  
ところや、馬があばれたりして困っているようすが書かれています。  
きゅうそく す かわ こ ひとやす す ちゃ の  
休息図 : 川を越えて一休みしているところです。たばこを吸ったりお茶を飲んだりしています。  
かわごえ す だいみょうぎょうれつ かわ わた ふね ひ わた  
川越図 : 大名行列が川を渡るところです。なわで船を引いたり、こいで渡ったりしています。  
うま ひとやす みちばた ひと ど げ ざ み  
通行図 : 大名行列が町に入ったところです。道端の人が土下座しているのが見えます。

ぎょうれつ す えどじだい さんきんこうたい か  
この行列図は、江戸時代の参勤交代のようすを書いたものです。

### さんきんこうたい 参勤交代とは

えどばくふ だいみょう えど す めいれい いき  
江戸幕府が大名に1年おきに江戸に住むように命令しました。このときの行き来を  
さんきんこうたい  
参勤交代といいました。

### だいみょうぎょうれつ えまき えどじだい ・大名行列絵巻(江戸時代)

だいみょうぎょうれつ こうしん じゅんぱん か  
上 : これは、大名行列を行進の順番にくわしく書いたものです。  
ひとある  
ずいぶんたくさん的人が歩いていたのですね。  
いくさ とき こうしん え か  
下 : これは、戦に行く時の行進を絵に書いたものです。  
たの え か  
とても楽しい絵で書かれています。

### いぬちよまるぎみのす えどじだい ・犬千代丸君之図(江戸時代)

まえだといえ とき ぞう えどじだい え いくさ かつやく かえ  
前田利家の15、6才の時の像を江戸時代に絵にしたもので戦で活躍して帰るところです。  
えもと がんく かがはん つか え か い つた  
この絵の元になるものは、岸駒という加賀藩に仕えた絵師が書いたと言い伝えられています。  
ごおおえしうつか に え  
その後、多くの絵師が写しを書いたため、似たような絵がたくさんあります。

### じんがさ えどじだい ・陣笠(江戸時代)

あしがる いくさ とき つか えどじだい やがい でむとき  
もともとは足軽などが、戦の時に使ったのですが、江戸時代には、野外に出向く時など  
ぶし に武士がかぶりました。

## かなざわじょうない す 金沢城内の図

えどじだい かなざわじょう きちょうど ず のうみ  
江戸時代の金沢城のようすが描かれた貴重な図です。この図では、能を見ているようすが  
えが さくなかひとかお 描かれています。ところが、柵の中の人の顔がなぜかとちゅうまでしか書かれていません。  
さくなかひと しきうたい ゆうふく ちょうにん のうかひと  
この柵の中の人たちは、招待された裕福な町人や農家の人たちです。

## えほんせつきょうどん えどじだい 絵本雪鏡談（江戸時代）

えどじだい じょうちゆう か え なに ねが  
江戸時代の城中のようすを書いた絵です。何かお願いをしているのでしょうか。

## かなざわじょうえす えどじだいちゅうき 金沢城絵図（江戸時代中期）

かなざわじょう なんど かさい ほうれき おおかじ まえ  
金沢城は何度か火災にあります。これは宝暦9年（1759）にあった大火事がおこる前  
しろ す おお しろ の城のようすがわかる図です。とても大きい城のようすがわかりますね。

## ちようけおやしきならびにごかちゅうのす 長家御屋敷並御家中之図（天保3年）

ちようけ げんざい たまがわとしょかん ばしょ す まえだけ けらい  
長家は現在の玉川図書館の場所に住んでいた、前田家の家来です。

ちようけ やしき ちようけ ぶかす まち か  
これは、長家の屋敷とその長家の部下が住んでいた町のようすを書いたものです。

## かなざわけんろくえんのす 金沢兼六園之図

けんろくえん いま おお えどじだい お ごろ いがい あたら  
兼六園が今のような大きさになったのは江戸時代の終わり頃ですから、意外と新しいもの  
す えどじだい けんろくえん きちょうど す げんざい き おお  
です。この図は江戸時代の兼六園のようすがわかる貴重な図ですが、現在よりも木が多い  
のがわかります。

## かみしも 袴

ぶし しごと ちい たい  
かみしもは、武士が仕事をするときのスーツのようなものです。小さいかみしもは12代  
はんしゅ まえだなりなが こ み おお ゆうりょく ぶし み  
藩主、前田斉広が子どもころに身につけたもの、大きいかみしもは、有力な武士が身に  
つ 付けたものです。

## がようぶしまちさいけんす きょうほう 加賀武士町細見図（享保19年（1734））

えどじだい かなざわ ちず かわ みち す ひと なまえ か  
江戸時代の金沢の地図です。川や道といっしょに住んでいる人の名前もくわしく書いてあり  
かわ ようすい こま か  
ます。川や用水なども細かく書いてありますね。

## さいがわがわがみしばいごやけいがんす えどじだいこうき 犀川川上芝居小屋景観図（江戸時代後期）

むかし かなざわ さいがわ あさのがわ しばいごや  
昔の金沢は、犀川や浅野川のそばの芝居小屋があつてたいへんにぎわっていました。  
す げんざい じょうなん ふ きん しばいごや みぎ しばい  
この図は、現在の城南1～2丁目付近にあった芝居小屋のようすです。右が芝居をやった  
おお けきじょう ひだりがわ りょうりや しょくどう りょかん しょうめん いど  
大きな劇場、左側は、料理屋（食堂）や旅館がならんでにぎわっています。正面には井戸  
いけみ  
やため池が見えます。

電車の回数券

金沢市内を走っていた電車の回数券です。回数券の裏には、いろいろな商店の広告が書かれています。

金沢発列車時間表（昭和初期）

金沢駅から出発したり、到着したりする汽車の時刻表です。昔は、金沢駅を出発したり到着する汽車は、とても少なかったことがわかります。

市内電車経路図（昭和40年頃）

金沢市内に電車が走っていたころの路線図です。その後、電車の路線はバスが走る事になりました。

マッチ（昭和）

マッチは、商店や飲食店の宣伝のために、広告をつけて客に分けられたりしました。いろいろなデザインがありますね。

引札（明治～大正時代）

引札とは江戸時代から明治、大正時代まで配られた商店の宣伝チラシのことです。おめでたい絵といっしょに店の名前などが書かれています。

引札（うしのちち）

「うしのちち」とはなんのことかわかりますか。

備考：ミニコ

地球儀（明治時代）

この地球儀は、江戸時代末から明治にかけての金沢出身の洋学者大屋が明治5年(1872)に作ったものです。

金沢市街之図（明治26年）

明治時代中頃の金沢市の地図です。この頃は市内を八つの区に分けていたんだね。金沢城のあとには、軍隊が入っているのがわかります。

金沢公園勧業博物館之図（明治24年）

兼六園で行われた博覧会の絵図です。今も残っている建物もあります。

金沢兼六園之図（明治31年）

兼六園が今のような大きさになったのは江戸時代の終わり頃だから、意外と新しいんだよ

かなざわしょうてん ずえ  
**金沢商店図絵**

めいじじだい かなざわ ゆうめい さかや くすりや わがしや りょかん あつ  
明治時代に金沢で有名だった酒屋、薬屋、和菓子屋、旅館などを集めたものです。いろいろ  
しょうてん みせさき いま つづ しょうてん  
な商店の店先のようすがよくわかります。今も続いている商店もたくさんあります。

でんわき  
**電話機**

でんわき めいじ はつめいか はつめい にほん つた  
電話機は明治9年(1876)にアメリカの発明家ベルによって発明されました。日本に伝わっ  
めいじ いっぽん かてい ふきゅう しょうわ はい  
たのも明治なのだけど、一般家庭に普及したのは昭和に入ってからです。

かなざわ し しょくぎょうでん わ ちょう しょうわ  
**金沢市職業電話帳(昭和20年)**

でんわき ころ ふつう かてい すく でんわばんごう みじか  
電話機は、この頃は、まだまだ普通の家庭には少なかった。電話番号も短いですね。

かなざわ し ちようかん ず しょうわ  
**金沢市鳥瞰図(昭和7年)**

しょうわしょき かなざわ えが ず ちようかん ず とり め み けしき さ  
昭和初期の金沢のようすを描いた図。鳥瞰図とは鳥の目で見たような景色を指します。その  
ころ あわがさきゆうえん ち み  
頃にぎわっていた粟ヶ崎遊園地を見ることができます。

ほうせんじ かご  
**宝泉寺駕籠**

えどじだい かねも ちようんん てら ひと つか いがい  
このかごは、江戸時代にお金持ちの町人やお寺の人が使ったかごです。意外と小さいです  
ね。

# てんじひん 展示品目録 もくろく

## 1. むかしの記録と図

- いぬちよまるぎみのす  
**犬千代丸君之図**
- かなざわじょうさんかいおやぐらすふくせい  
**金沢城三階御櫓図(複製)**
- かなざわじょうえすえどじだいちゅうき  
**金沢城絵図(江戸時代中期)**
- だいみようぎょううれつえまきえどじだい  
**大名行列絵巻(江戸時代)**
- だいみようぎょううれつえどじだい  
**大名行列図(江戸時代)**
- かようぶしまちさいけんすきょうほう  
**加陽武士町細見図(享保19年<1734>)**
- ちょうけおやしきならびにごかちゅうのすてんぼう  
**長家御屋敷並御家中之図(天保3年)**
- えほんせつきょうだんえどじだい  
**絵本雪鏡談(江戸時代)**
- さいがわかわかみしはいごやけいかんすえどじだいこうき  
**犀川川上芝居小屋景観図(江戸時代後期)**
- かなざわこうえんかんぎょうはくぶつかんのすめいじ  
**金沢公園勧業博物館之図(明治24年)**
- かなざわしがいのすめいじ  
**金沢市街之図(明治26年)**
- かなざわけんろくえんのすめいじ  
**金沢兼六園之図(明治31年)**
- かなざわしおうてんすえ  
**金沢商店図絵**
- ひきふだめいじたいしょうじだい  
**引札(明治~大正時代)**
- でんしゃかいすうけん  
**電車の回数券**
- かなざわはつれっしゃじかんひょうしおわ  
**金沢発列車時間表(昭和6年)**
- かなざわしちょうかんすしおわ  
**金沢市鳥瞰図(昭和7年)**
- かなざわしそくぎょうでんわちょうしおわ  
**金沢市職業電話帳(昭和20年)**
- しないでんしやけいろすしおわごろ  
**市内電車経路図(昭和40年頃)**

## 2. むかしの物

- じんがさえどじだい  
**陣笠(江戸時代)**
- ちきゅうぎめいじじだい  
**地球儀(明治時代)**
- しょうわしょき  
**マッチラベル(昭和初期)**
- \* ランプ・あんどん・ろうそく立て  
でんわき  
**\* 電話機**
- かんばん  
**\* 看板**
- \* ラジオ・レコードプレーヤー  
でんきゅう  
**\* 電球**
- おきどけい  
**\* 置時計**
- でんしゃ  
**\* 電車(ブリキ)おもちゃ**
- にくば  
**\* 人形セット・メンコ**
- 木馬  
かみしも  
**\* 木馬**
- ほうせんじかこ  
**\* 宝泉寺駕籠**
- せんたくいたせんたくき  
**\* たらい・洗濯板・洗濯機**
- きょうたく  
**\* 教卓**
- つくえ  
**\* 机・イス**

\* 印は民俗文化財展示館からかりたものです

## 3. むかしの写真

- めいじしょきかなざわじょう  
**明治初期の金沢城**
- うたまえはすいけぼりいしかわもんめいじ  
**埋め立て前の蓮池堀と石川門(明治40年)**
- さいがわおおはしかたちめいじ  
**犀川大橋から片町のながめ(明治40年)**
- じょがっこうたいそうふうけいめいじ  
**女学校体操風景(明治41年)**
- てらまちめいじ  
**寺町からのながめ(明治42年)**
- しんたてまちしうがっこうめいじ  
**新豊町小学校(明治43年)**
- えいわようちえんめいじじだいこうき  
**英和幼稚園(明治時代後期)**
- ものしゃしん  
**のり物の写真**
- じょがっこうたいしよう  
**女学校のようす(大正2年)**
- けんろくえんしたたいしよう  
**兼六園下(大正8年)**
- おおゆき  
**大雪のようす**
- ゆきかないわおうかんしょうわ  
**雪の金石往還(昭和5年)**
- かなざわえきしょうわ  
**金沢駅(昭和7年)**
- なんたんこくどうしょうわ  
**南端国道(昭和8年)**
- ゆきあそかわあそうみあそしょうわしょき  
**雪遊び・川遊び・海遊び(昭和初期)**
- のうぎょうしょうわ  
**農業のようす(昭和20年)**
- こうつうせいりしょうわだい  
**交通整理(昭和20年代)**
- いしやねみんかしょうわ  
**石屋根の民家(昭和30年)**
- かたまちはしでんしゃしょうわ  
**片町を走る電車(昭和40年)**